

## 展示会で伝えるソディックのモノづくり

国内外の展示会や自社でのプライベートショーを通じて、当社のモノづくりを直接お伝えしています。実機をご覧いただきながら技術力を体感していただくことで、新たな商談の創出や

市場認知の向上にもつながっています。今後も展示会を通じた市場への発信を継続し、当社製品の価値と技術的優位性を広くお届けしてまいります。

### EMO Hannover 2025



世界最大級の工作機械展示会「EMO Hannover 2025」(ドイツ・ハノーバー)に出展しました。部品の向きを自動で調整しながら複雑形状に対応する加工デモなど、航空・医療分野での部品加工に重点を置いた展示を行いました。

### メカトロテックジャパン 2025



日本最大級の工作機械見本市「メカトロテックジャパン 2025 (MECT2025)」に出展し、自動化や金属3Dプリンタ、循環型技術など、当社が注力する最新ソリューションを紹介しました。製造現場の効率向上と持続性を両立する取り組みに、多くの来場者から関心をいただきました。

### ソディック金属3Dプリンタプライベートショー



当社加賀事業所にて、金属3Dプリンタのプライベートショーを開催しました。全ラインアップの実機展示はもとより、多種多様な造形サンプルの紹介に加え、ユーザー企業様にも協力いただき、実際の造形品展示やセミナーを通じて、量産現場での活用イメージを深めていただく機会となりました。

📄 詳細レポートは「Sodick REPORT 2026年 Vol.1 (Web版)」でご覧いただけます  
<https://www.sodick.co.jp/media/report/>



## 株主還元方針

当社は、中長期的な企業価値の向上を目指し、将来の成長投資と株主還元の充実を両立させることを資本政策の基本方針としています。このたび、中期経営計画の策定にあたり、2026年12月期より株主還元方針を刷新しました。

新方針では、原則として減配を行わない累進配当方針を採用します。中長期的には、総還元性向40%以上を目安に、配当と自己株式取得を組み合わせた株主還元を行ってまいります。

また、中期経営計画の対象期間である2026年12月期から2029年12月期までの4年間は、期間全体の総還元性向70%以上とした、より積極的な株主還元を実施してまいります。

さらに2026年8月に設立50周年を迎えることを記念し、1株当たり6円の記念配当を実施する予定です。これにより、2026年12月期の中間配当は普通配当14

### 株主還元の方針

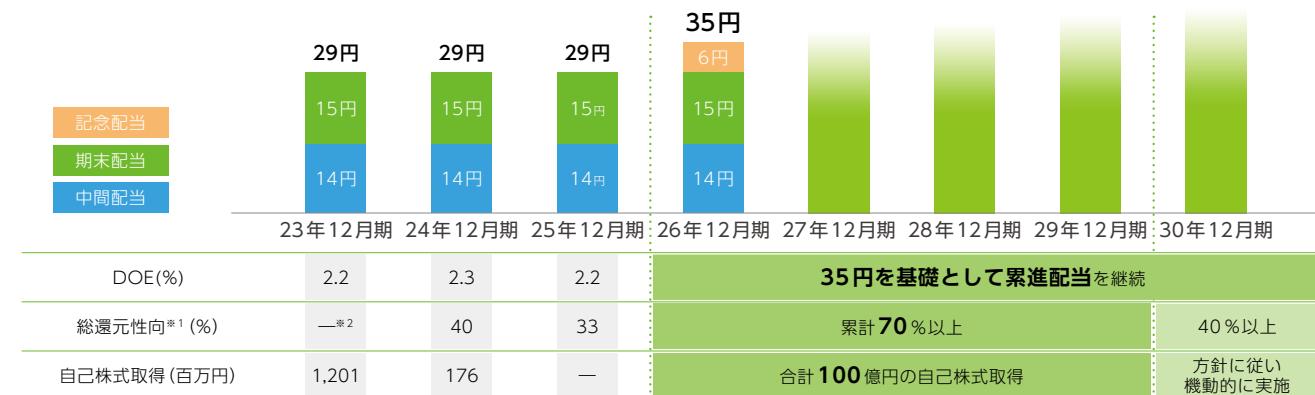
	配当	総還元性向
変更	累進配当	中期経営計画期間(2026-2029) <b>70%以上</b>
		基本方針 <b>40%以上</b>

従来	DOE 2.0%以上	40%以上
----	---------------	-------

円に記念配当6円を加えた20円、期末配当は普通配当15円とし、年間配当金は1株当たり35円を計画しています。

なお、記念配当を含めた2026年12月期の年間配当水準(35円)を翌期以降の基礎配当水準と位置付け、安定的な配当水準の維持とさらなる向上を目指してまいります。

### 一株当たり配当金推移



\*1:実績の計算式:総還元性向 =  $\frac{n\text{年度の配当} + n\text{年度の自己株式取得額}}{n\text{年度の当期純利益}}$

\*2:2023年度は純利益がマイナスであり、総還元性向がマイナスと計算されるためハイフンにて表示